

日本史籍講読7B－Ⅱ

科目ナンバリング JPH-230

選択必修 2単位

小山 俊樹

1. 授業の概要(ねらい)

明治～大正期にかけて、政党政治家として活躍し、「平民宰相」として知られる原敬。立憲政友会を率いて政党政治の進展に寄与した原は、1921(大正10)年11月4日に東京駅丸ノ内改札で暗殺されるまで、膨大な日記を書き残した。本授業では、原の記した日記(『原敬日記』)を題材として、参加者全員で輪読・報告する。一人の政党政治家の眼を通して、近代日本の政治や社会について理解を深めるとともに、近代史料の読解や調査の方法を学んでいく。

2. 授業の到達目標

①近現代日本の政治家が残した「日記」を活字で読み、その文意を説明できるようになること。②「日記」に書かれた登場人物・事件・事項などを調査する能力を身につけること。③他の史料などを読み解き、「日記」の記述を検証できるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

毎回の授業での報告・質疑を重視する。また最終回にテストを行い、総合的に評価を行う。

4. 教科書・参考文献

教科書

原奎一郎・林茂 原敬日記 福村出版

参考文献

伊藤之雄 原敬—外交と政治の理想 講談社

季武嘉也 原敬—日本政党政治の原点 山川出版社

5. 準備学修の内容

テキストを読み込み、文意と内容を解読する。また参考文献などを使用して、担当範囲の人物・事象および、背景となる政治や社会の動きを説明できるようにする。

6. その他履修上の注意事項

授業での報告・質疑の内容を重視する。報告者はもちろん、その他の受講者も事前にテキストを読み、質疑応答に参加することが求められる。

7. 授業内容

【第1回】 ガイドンス・史料の概略と授業の進め方について

【第2回】 「原敬日記」を読む(1)

【第3回】 「原敬日記」を読む(2)

【第4回】 「原敬日記」を読む(3)

【第5回】 「原敬日記」を読む(4)

【第6回】 「原敬日記」を読む(5)

【第7回】 「原敬日記」を読む(6)

【第8回】 「原敬日記」を読む(7)

【第9回】 「原敬日記」を読む(8)

【第10回】 「原敬日記」を読む(9)

【第11回】 「原敬日記」を読む(10)

【第12回】 「原敬日記」を読む(11)

【第13回】 「原敬日記」を読む(12)

【第14回】 「原敬日記」を読む(13)

【第15回】 春期のまとめ・最終試験